

臨床研究のご説明

外来通院中の精神障がい者を抱えた家族のリカバリーとその構造

1. 臨床研究について

九州大学大学院医学研究院保健学部門では、最適な看護・助産ケアを患者さんやそのご家族へ提供するため、ケアの本質を研究し、研究結果を臨床の看護現場に提供できるように努めています。このような試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、外来通院中の精神障がい者を抱えた家族のリカバリーとその構造に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、平成31年5月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

日本でも精神障がい者の地域生活移行がすすんでいます。精神障がい者への地域生活を促進するための考え方としてリカバリーと言う考え方があります。これは、海外で、「精神疾患の治癒」中心から「当事者が主体的に自分らしく生きることを支える支援」へとといった当事者中心のケアを導いてきました。日本でも当事者の支援にリカバリーの考え方が用いられてくるようになってきています。しかし、当事者だけではなく、ご家族にもリカバリーにむけての支援が必要であるといわれています。一方で、ご家族のリカバリーについての研究はまだ少ない現状があります。

この研究は、精神障がい者のお世話をした経験をとおしてご家族がどのようにリカバリーをしていくのかということ明らかにしていき、そのことを通して精神障がい者を抱えたご家族の支援に結びつけたいと考えました。まず、その現状を知るためにご家族がどのような体験をしているのかをインタビューを通して教えていただくことを目的にこの研究を計画いたしました。

3. 研究の対象者について

九州大学病院、精神科クリニック、精神科病院の精神科外来に通院されている統合失調症、双極性障害、大うつ病を診断されてから5年以上経っている方の成人したご家族で、家族と同居しているか同居していなくても一緒に生活をした経験があり、現在も定期的に連絡をとっているかた3名を対象とさせていただき予定です

4. 研究の方法について

この研究への参加を同意いただけましたら、インタビューの日程調整を行います。そしてインタビューの日までにご家族の状況についてお渡しする用紙に記入していただきます。その後ご家族へのインタビューをさせていただき、その逐語録からご家族の語りを

記述し、それらの質的データを用いて、ご家族のリカバリーの体験について共通する体験や思いを抽出します。

インタビューでは、以下の内容についてお話しをお聞かせください。

- ・ご家族の病気を知らされてからの変化。
- ・困った時に相談する相手。
- ・役に立ったアドバイス。
- ・ご家族についての今後の見通しや希望
- ・ご自分の将来について今後の見通しや希望
- ・元気づけられた体験

お話ししたくない内容については、お話ししただかなくて大丈夫です。

インタビューは、本研究について研究者 青本さとみ が説明を差し上げたのち、青本さとみが実施いたします。時間は1時間程度で2回実施させていただきます。また、お話しいただく内容を記録・録音させていただきます。

その後お話しいただいた内容を、まず文字に起こします。次に、そこからご家族が経験したり感じたりしていることを抽出し、精神障がい者を抱えたご家族がどのような経験をしリカバリーしていくのかを分析していきます。この作業は青本さとみが行いますが、厳密に実施するために、精神看護の研究の専門家である指導教員（聖路加国際大学 精神看護学教授 萱間真美）の指導のもとで行います。

5. 個人情報の取扱いについて

プライバシーの保護には十分配慮いたします。この研究に必要な情報以外の情報は収集しません。インタビュー時の記録・録音内容は、この研究の分析のためにのみ使用します。またインタビュー内容は、個人が特定できないようにしたうえで聖路加国際大学又は九州大学において研究者 青本さとみと萱間真美が分析し、それ以外の目にふれることはありません。結果は、聖路加国際大学大学院の博士論文の一部とさせていただき、学術論文等で報告の予定ですが、そのときもあなたの名前や個人を特定できる情報は使用しませんし、状況から個人が特定されないよう一部改変いたします。なお、ご希望であれば本研究の研究計画書および結果を開示いたします。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院看護学分野・教授・中尾久子の責任の下、厳重な管理を行います。

6. 情報の保管等について

〔情報について〕

この研究において得られたあなたのインタビュー情報は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院看護学分野において同分野教授・中尾久子の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られたあなたの情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、あなたの同意がいただけるならば、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えております。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

7. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、どうぞお申し出ください。

また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。

8. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所 (分野名等)	九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野
研究責任者	九州大学大学院医学研究院看護学分野 講師 青本さとみ
研究分担者	なし

共同研究施設 及び 試料・情報の 提供のみ行う 施設	施設名 / 研究責任者の職名・氏名	役割
--	-------------------	----

業務委託先	企業名等： 所在地：
-------	---------------

9. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学医学研究院保健学部門看護学分野 講師 青本さとみ 連絡先：〔TEL〕 092-642-6715 〔FAX〕 092-642-6715 メールアドレス：aomoto@hs.med.kyushu-u.ac.jp
---------------	--